



ソーシャルプロダクツ創出支援ワークショップ

～SDGs達成に向けたソリューション・アイデアを 他者と共創する実践手法を学ぶ～

近年、これまでのように画期的な技術や圧倒的な低価格といった物理的価値だけでなく、「この商品・サービスは、どのように持続可能な社会の創出に貢献するのか」という社会的価値こそ、これからますます消費者が商品・サービスを選ぶ重要な視点の一つになっていくと言われています。また、そうした消費行動を促すビジネスの力こそ、SDGsの達成に不可欠な要素です。

今回、近畿経済産業局では、より良いソーシャルプロダクツの開発やマーケティングの実践に向けて、プロセスを体験いただくワークショップを開催します。本プログラムが、皆様のソーシャルプロダクツに対する理解を深めるとともに、SDGsを学ぶだけでなく、ビジネスとして使うきっかけとなれば幸いです。

※ソーシャルプロダクツ：企業および他の全ての組織が、生活者のみならず社会のことを考えて作りだす有形・無形の対象物（商品・サービス）のことで、持続可能な社会の実現に貢献するもの

テーマ	SDGs達成に向けたソリューション・アイデアを他者と共創する実践手法を学ぶ
開催日時	2021年 12 月 16 日(木) 13:00～16:30
会場	関西大学 梅田キャンパス 4階多目的ホール (大阪市北区鶴野町1番5号)
講師	一般社団法人 ソーシャルプロダクツ普及推進協会 ・ 事務局長 深井 賢一 氏 ・ 木村 有香 氏
主催	近畿経済産業局「関西SDGs貢献ビジネスネットワーク」
共催	一般社団法人ソーシャルプロダクツ普及推進協会
協力	関西大学 KANDAI for SDGs推進プロジェクト、大日本印刷株式会社、大阪商工会議所
参加対象	SDGsをビジネスで目指したい、SDGsを目指した製品やサービスを創出したい企業やクリエイター
定員	25名(先着順)
参加費	無料
申込みURL	https://mm-enquete-cnt.meti.go.jp/form/pub/kansai01/form195

お問合せ

近畿経済産業局 通商部 国際課 (田村、小谷)
Tel : 06-6966-6031
Mail : kin-kokusaiinfo@meti.go.jp

講師の紹介、プログラムは次のページへ

Sustainable Development Goals

講師とプログラムの紹介

講師

一般社団法人ソーシャルプロダクツ普及推進協会

事務局長 **深井 賢一 氏**

- 株式会社YRK and 取締役 東京代表
- 株式会社SoooooS.カンパニー 取締役

木村 有香 氏

- 株式会社SoooooS.カンパニー 代表取締役
- 株式会社YRK and SDGs推進コンサルティングチーム



SDGsは何からはじめればいいのか？という経営者の声を耳にします。

結論から言えば、SDGsは事業そのもので活かさないと意味がありません。

それは、サステナビリティが成立しなければ、ゴーイングコンサーンは実現しないということです。

企業は業績を上げ、利益を出し継続する存在（ゴーイングコンサーン）でなければいけないわけですが、その前提は人が生き生きと暮らせる環境と社会があつての話。

つまり、企業は持続可能な社会をつくる（サステナビリティ）存在でなければ、ゴーイングコンサーンにもならない。

言い換えれば、「社会性がなければ市場性もない・存在意義もない」という時代。

それは、商品やサービスの価値に、環境問題や社会問題の解決が含まれていないと選択されないということです。

生活者の価値観は、すでに大きく変わっています。

市場が変われば、企業のあり方、商品の価値、コミュニケーションの取り方、すべてが変わります。

プログラム

STEP 1 : 自社の強みや社会性の再認識

アイスブレイク後、自社の強みや社会性に再認識するプロセスを通じて、自社で取り組むべきSDGsの方向性を探り、グループ内で共有します。

STEP 2 : 自社の取り組みについて考えてみる

STEP2では、自社の強みや社会性と事業とのつながり、およびそれが社内外に伝わっているかを考えてみます。その上でグループ内で他社の問題を指摘し合い、自社の持つ強みや付加価値への気付きを得ます。

STEP 3 : グループ内で社会的な取り組みの連携方法を話し合う

STEP3では、それぞれのグループで、社会的な取り組みの連携方法を考えます。社会性の伴った商品・サービスの付加価値の開発、その伝え方や販売方法、連携方法、顧客の参画について話し合います。